

■特別会計決算（前年度比較）

（単位：千円・％）

歳入	R1年度	H30年度	増減額	伸率	歳出	R1年度	H30年度	増減額	伸率
国民健康保険	11,342,077	12,105,418	△763,341	△6.3	国民健康保険	11,209,271	12,000,955	△791,684	△6.6
後期高齢者医療	2,255,723	2,167,245	88,478	4.1	後期高齢者医療	2,213,186	2,150,253	62,933	2.9
公共下水道事業	2,928,498	2,346,703	581,795	24.8	公共下水道事業	2,090,947	2,237,796	△146,849	△6.6
農業集落排水事業	975,770	1,271,933	△296,163	△23.3	農業集落排水事業	752,464	1,255,241	△502,777	△40.1
八丁台土地区画整理事業	524,674	364,186	160,488	44.1	八丁台土地区画整理事業	369,353	338,515	30,838	9.1
介護保険	8,874,841	8,882,301	△7,460	△0.1	介護保険	8,626,906	8,450,788	176,118	2.1
介護サービス事業	3,315	30,167	△26,852	△89.0	介護サービス事業	2,711	28,956	△26,245	△90.6
病院事業債管理	480,525	191,176	289,349	151.4	病院事業債管理	480,525	191,176	289,349	151.4
計	27,385,423	27,359,129	26,294	0.1	計	25,745,363	26,653,680	△908,317	△3.4

■企業会計決算（水道事業）（前年度比較）

（単位：千円・％）

歳入	R1年度	H30年度	増減額	伸率	歳出	R1年度	H30年度	増減額	伸率
水道	3,126,614	2,900,806	225,808	7.8	水道	3,563,323	3,397,963	165,360	4.9
うち収益	2,306,487	2,294,436	12,051	0.5	うち収益	2,025,988	1,952,139	73,849	3.8
うち資本	820,127	606,370	213,757	35.3	うち資本	1,537,335	1,445,824	91,511	6.3

令和元年度決算に基づく財政健全化指標などの状況

実質赤字比率 黒字決算のため該当なし

福祉、教育、まちづくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

連結実質赤字比率 黒字決算のため該当なし

すべての会計の赤字や黒字を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

実質公債費比率 8.7%

市の借入金にかかる元金および利息の支払いにかかる経費の合計額が標準財政規模*に対してどのくらいの比率になっているかを示すもので、資金繰りの危険度を示すものです。

※標準財政規模…

通常収入されるであろう経常的な一般財源（税や交付金など）の規模。本市の令和元年度標準財政規模は247億8,283万円

早期健全化基準 25%
財政再生基準 35%

将来負担比率 67.5%

市の借金や将来支払わなければならない負担金などの残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

早期健全化基準 350%

資金不足比率 資金不足が生じないため該当なし

公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

経営健全化基準 20%

※いずれの指標も、国が定める財政の早期健全化や再生を図る基準を超えることなく、健全な状況を保っています。

筑西家の家計簿

決算内容を、一般家庭の家計簿にたとえてわかりやすく説明するため、項目も簡単な言葉に置き換えてまとめてみました。

決算額を家計簿に例えてみるとこうなります。



収入（年額）	
給与（市税・地方交付税など）	240万円
親からの仕送り（国・県補助金など）	115万円
貯金取崩し（基金取崩し）	9万円
ローン（市債）	59万円
前年からの繰越（前年度繰越）	19万円
収入合計	442万円

※1万円＝市決算の1億円

※収入・支出の差額は翌年度へ繰越

支出（年額）	
食費（人件費）	60万円
水道光熱費（物件費）	47万円
教育費・医療費（扶助費）	94万円
子どもへの仕送り、自治会費など（他会計繰出金、補助金など）	118万円
家や車の購入など（普通建設事業費など）	60万円
ローン返済（市債償還）	43万円
貯金積立て（基金積立て）	7万円
支出合計	429万円

決算報告

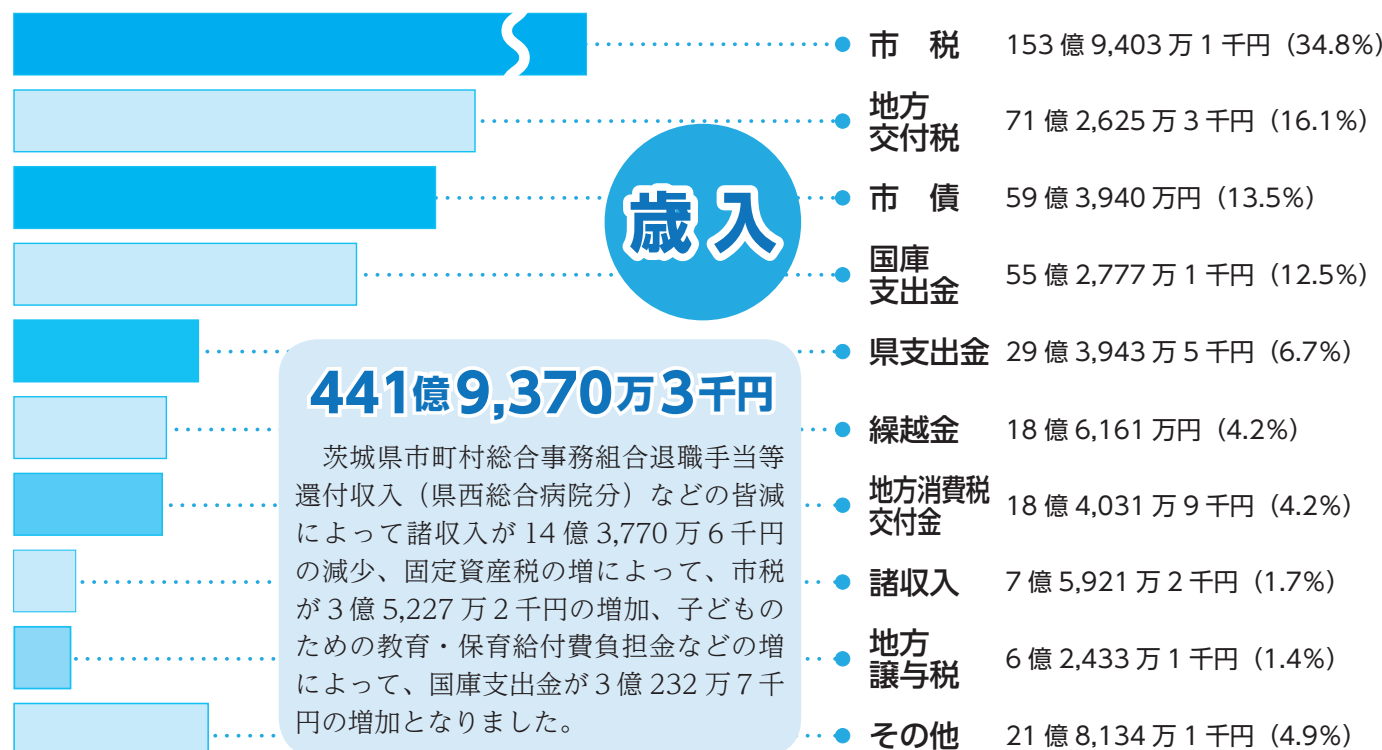
決算の概要

令和元年度の一般会計の決算は、歳入決算額が前年度比4.7%減の441億9,370万3千円、歳出決算額が前年度比3.7%減の428億6,293万3千円であり、歳入歳出差引額は13億3,077万円、翌年度に繰り越すべき財源1億5,702万9千円を差し引いた実質収支額は、11億7,374万1千円の黒字となりました。

また、公共施設や公共インフラの老朽化対策などに多額の財源が必要となり、財政運営は今後一層厳しさを増していくと予測されます。

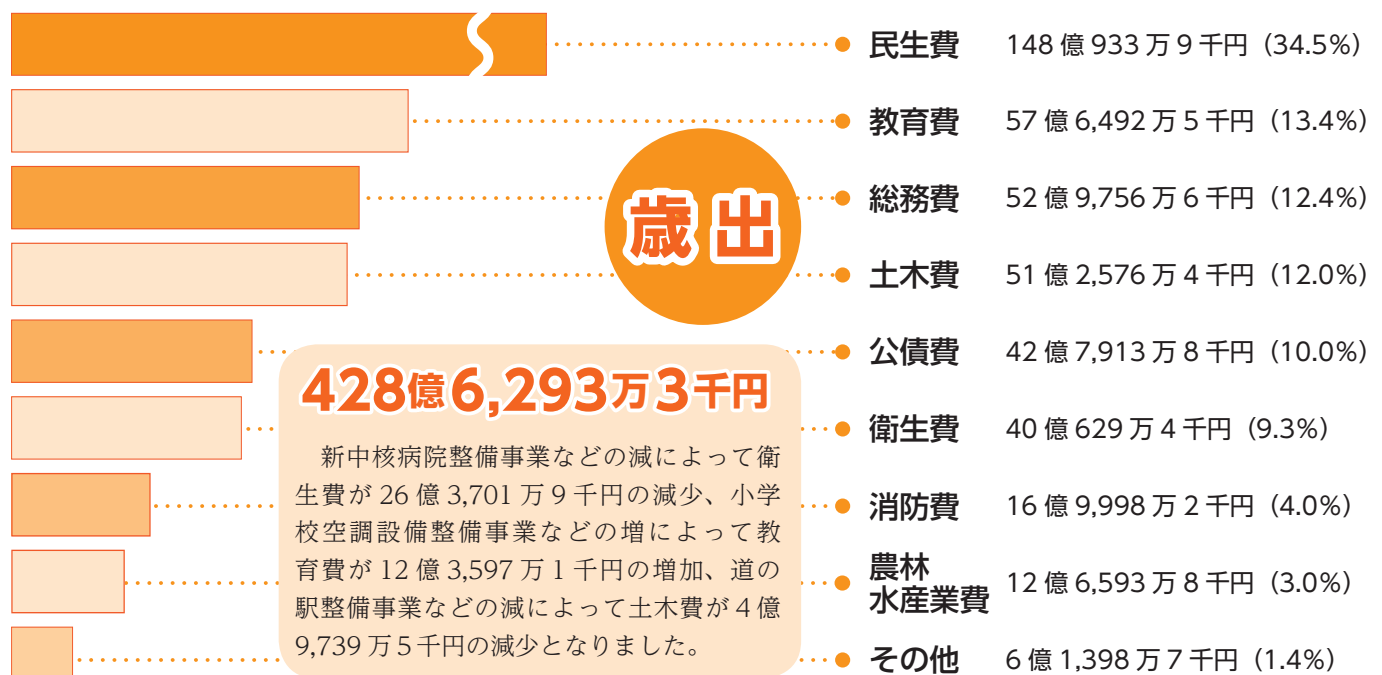
問 財政課（本庁4階） ☎24 - 2198

■一般会計決算（ ）内は構成比



441億9,370万3千円

茨城県市町村総合事務組合退職手当等還付収入（県西総合病院分）などの皆減によって諸収入が14億3,770万6千円の減少、固定資産税の増によって、市税が3億5,227万2千円の増加、子どものための教育・保育給付費負担金などの増によって、国庫支出金が3億232万7千円の増加となりました。



428億6,293万3千円

新中核病院整備事業などの減によって衛生費が26億3,701万9千円の減少、小学校空調設備整備事業などの増によって教育費が12億3,597万1千円の増加、道の駅整備事業などの減によって土木費が4億9,739万5千円の減少となりました。